

事務事業 No./名称	■サービス部門 健福-28 はまなみ運営事業					ザイムスコード及び個別事業名			
	□支援部門					750	はまなみ運営事業		
主管課	障害者福祉課		関連課						
分野名	健康福祉								
目標 (目標値)	福祉運営事業の充実を図る								
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考					
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)					
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯						
	55人	55人							
運営資源 状況	決算値	44,139千円	43,638千円						
	(国・県)	505千円							
	(負担金等)								
	(一般財源)	43,634千円	43,638千円						
	人員配置数	0.2人	0.2人						
	人件費	1,953千円	1,879千円						
	協働の パートナー								
事務事業 運営経費	総事業費	46,092千円	45,517千円	20年度	実施	実施			
	市民1人当 りの経費	261円	258円	21年度	実施	実施			
	対象者1人 当りの経費	838,036円	827,582円	22年度	実施				
	ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名	横須賀市	平塚市	藤沢市	小田原市	茅ヶ崎市	23年度	実施
	障害者施設	○	○	○	○	○	最終年度 (年度)	実施	
	指定管理者制度								
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 「鎌倉はまなみ」は、在宅における知的障害者の日常生活訓練・作業訓練の場として、市民ニーズは高く、地域福祉援護の拠点として機能している。指定管理者制度を平成18年度から導入し、さらに民間活力を活用し、経費の節減を促し、より効率的、効果的な福祉の増進を図った。							
	留意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 毎年度利用者アンケートを実施し、利用者の満足度の高い施設運営を目指していく。							
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 平成23年度からの指定管理替えに向けた候補選定を行わなければならない。このため、指定管理料の算定のための基礎データ、実績などの収集、分析が必要である。 また、「はまなみ」は旧法施設のため、次期指定管理期間(平成23年度～27年度)に、障害者自立支援法の法内施設に移行しなければならない。							
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 第1期指定管理者業務委託契約期間が終了する22年度以降の指定管理者の更新に向けて候補選定を行い、引き続き、民間活力を活用した効率的・効果的な知的障害の通所福祉事業の推進を図っていく。また、法内施設への移行も含めた、適切で妥当な次期指定管理料の算定を行っていく必要がある。							
一次評価(課長評価)					二次評価(部長評価)				
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了									
評価結果	改善の必要性	平成23年度からの指定管理替えに向けて準備を進めるとともに、引き続き効率的、効果的な施設運営を図っていく。			評価結果	改善の必要性	今後も経費の節減を図り、効率的、効果的な指定管理業務を実施していく。		
A	有				A	有			
課長名		障害者福祉課長 茶木 和夫			部名・部長名		健康福祉部長 石井 和子		